

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 もくもく		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 6日		～ R7年 1月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数) 29名
○従業者評価実施期間	R7年 1月 20日		～ R7年 1月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの強みを大切に、得意なこと苦手なことに繋げる こと	アセスメント等からお子さまの強みを知り、様々な場面で力が 発揮できるよう、その子にとって分かりやすくがんばりやすい 方法を提案・実施できるよう努めている。	的確なアセスメントを行い、一人ひとりに適した関わりを提 案・実施できるよう職員のスキルアップや組織作りに取り組 む。
2	ご家族との対話を心がけ、共に考え取り組むこと	ご家族とお話する機会を大切に、対話を心がけている。 お子さまについて共に考え取り組めるよう、ご家族から相談し ていただける関係・環境作りに努めている。	ご家族がお話や相談をしやすいよう、職員のスキルアップや 環境の設定に取り組む。
3	季節行事や課外活動を行っていること	季節感を知る・楽しむこと、園生活の充実に繋がるよう季節行 事を取り入れている。 交通ルールについて学び実施する、遊びの広がりや経験に繋が るよう、散歩や地域の公園での遊びを取り入れている。 興味関心の広がりや、社会的な経験を積めるよう、消防署見学 やスーパーでの買い物、バスや電車の公共交通機関を使用する ことを取り入れている。	季節行事、課外活動が子どもたちにとってより分かりやす く・楽しめる内容になるよう工夫をする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	災害時のマニュアルや訓練の実施についての周知が不足してい ること	マニュアルは作成されており、災害時を想定した訓練を実施し ているが、それらをご家族に周知しきれていなかった。	参観や面談等でマニュアルについて知っていただく機会を設 ける。 訓練を実施した際に送迎だけでなく連絡帳でもお伝えをす る。
2	保護者同士の交流や家族支援プログラムの機会が設定しきれて いないこと	卒園児と年長児の交流会は実施しているが、他の学年の保護者 同士が交流する機会を設定できていなかった。 家族支援プログラムやご家族が参加できる研修や情報について 提供できていなかった。	卒園児と年長児の交流会は継続しながら、他の学年の保護者 同士が交流できるよう茶話会を実施する。 ご家族が参加できる研修等について情報の発信を行う。
3	地域の子ども達との交流の機会を設定しきれていないこと	公園での活動時に地域の子ども達と過ごすことはあったが、意 図的な機会の設定やご家族への周知ができていなかった。	地域の子ども達と交流できる機会を設定できるよう努める。